



CREEN人材育成プログラム

— 内閣府 地方大学・地域産業創成交付金

北海道大学地域水産業共創センター

2026.4

CREEN人材育成プログラム

CREEN人材育成プログラム：地域の将来を担う人材を育成するための新しいプログラム

- 函館市の主要産業である水産業を持続的に発展させるため主に地域カーボンニュートラル（RCN）養殖産業において即戦力となる専門人材の育成を目指す人材育成プログラム
- 内閣府「地方大学・地域産業創生交付金」の採択を契機に北海道大学水産学部に設置された地域水産業共創センター（RFC）が運営

C : Creative & Cooperative : 創造性豊かで協調性のある人材
R : Realistic : 現実主義で実学を推進できる人材
E : Entrepreneurial & Energetic : 起業家精神を持ち何事にも挑戦する行動力のある人材
E : ECO : 環境と経済を両立させることができる人材
N : Naturalized : 函館を愛し函館に住み続けたい人材

地域カーボンニュートラル：魚類養殖が排出するCO₂を海藻養殖や地域の天然海藻資源が吸収するCO₂でオフセットし、その地域全体で養殖業のカーボンニュートラルを目指すもの

CREEN人材育成カリキュラム：CREEN人材育成プログラムの中心的役割を担う教育カリキュラム

- 必修科目・選択科目で構成され、修了者には【ディプロマ】を発行
- 北海道大学、函館大学、公立はこだて未来大学、函館工業高等専門学校、北海道教育大学函館校の5機関が連携しカリキュラムを構築
- 産業や研究開発の【現場】を利用する実習中心
- 実学を重視した【アントレプレナー教育】により起業家精神を養う

CREEN人材育成プログラム

地域水産業共創センターが運営



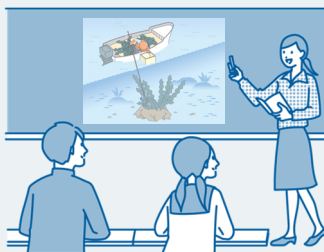
中・高校生向けの取組

地域連携型オープンキャンパス

早期に大学での学びを体験

職業意識調査

水産業（主に漁業）への意識付け



大学生・大学院生向けの取組

CREEN人材育成カリキュラム

先進的なカリキュラムの提供・単位認定

函館をもっと良いまちに！プロジェクト

学生による地域課題解決型プロジェクト



輩出する人材

起業家



水産業の即戦力者



地域コーディネーター



CREEN人材育成プログラム

—CREEN人材育成カリキュラム 必修科目

CREEN人材育成カリキュラム：選択科目＋必修科目で構成。修了者にはディプロマ付与

- CREEN人材育成カリキュラムで取得した単位を「クレジット(credit)」として地域水産業共創センターが管理し、ディプロマを付与
- 授業形式は対面（演習等）またはオンデマンド。異なる教育機関の学生が受講しやすい仕組み作り
- 北海道大学のLASBOSシステム（オンライン学習システム）を活用し、履修登録・オンデマンドの授業の受講・成績管理等を行う

必修科目：2クレジットずつ4クレジット受講

水産学演習（通期・対面形式）

2cr

漁業・養殖業・水産加工業の現場を体験し、水産業の現状理解と課題解決のための能力を養う講義・演習

- 漁業・水産加工業（主にコンブ）
- 養殖業・養殖技術（主にサーモン）
- プレゼンテーション演習



地域創生演習～起業家・コーディネーター入門（2週間程度の集中講義・対面形式）

2cr

地域産業の特徴や課題を理解するとともに、起業のための基礎知識や戦略の基礎を学ぶ講義・演習

- オリエンテーション＋講義
- グループワーク・プレゼンテーション



担当機関	講義内容
北海道立工業技術センター	コンブ課題のイントロダクション、コンブ活用例紹介
戸井漁業協同組合	・浜におけるコンブの出荷前作業見学・体験 ・種苗生産の現場研修、コンブ漁業の現状・将来像
マルキチ食品（株）	コンブの加工・産地品質・生産流通
大学院水産科学研究院	種苗生産に関する先端技術
（株）古清商店	サーモン養殖生け簀見学・海面養殖技術について
地域水産業共創センター	・サーモン課題に関するイントロダクション ・コンブの加工工場視察、コンブ加工の現状と課題 ・コンブ水産業に関するグループワークと発表 ・サーモン課題に関するグループワークと発表



コンブ採取体験研修



サーモン海面養殖生け簀視察



シリコンバレー起業家とWEB対談

担当機関	講義タイトル
北海道教育大学函館校	北海道における水産加工企業の現状と課題
函館大学	・函館地域産業の現状と活性化 ・函館のまちの歴史と現状
北海道立工業技術センター	・産学官連携コーディネーターとは ・北海道立工業技術センターの事業紹介、施設見学 ・なぜ在学中に起業したのか？取組みの紹介と課題～ナチュラルに起業する～
地域水産業共創センター	・地域の起業先駆者と地域資源の探求（フィールドワーク） ・青森県におけるサーモン大規模養殖事業 他
北海道立工業技術センター	北海道立工業技術センターの事業紹介、施設見学
北大産学・地域協働推進機構	修士・博士研究とスタートアップ
SCSK北海道（株）	企業による起業支援、さまざまな起業の形
技術戦略マネジメント・オフィス	・理系/技術系人材のための 起業と経営入門 ・起業のアイデア創出と ビジネスモデルの策定 ・シリコンバレーの流儀、イノベーションを考える
i-BuC Ltd.CEO & President	・実践エレベーターピッチ解説と実習指導 ・スタートアップ事例研究

CREEN人材育成プログラム

—CREEN人材育成カリキュラム 選択科目

選択科目：地域水産業の活性化に重要な7分野から目指す人材像にあわせて8クレジット以上を受講

- オンデマンド形式を中心とし、時間や場所の制約を受けない（一部科目はリアルタイムオンライン受講）
- 過去取得した正規単位を、クレジットとして遡及認定が可能

開講時期	養殖・水産加工	観光・食産業	物流革新・海外輸出・Withコロナ	AI&IoT	地域資源活用	公共政策論	マーケティング
前期	<p>▲ <u>水産物と栄養</u> (1cr/北大提供)</p> <p>(大学院)</p> <p>★ <u>水産物栄養学特論</u> 1cr/北大提供</p>	<p><u>地域経済論Ⅰ</u> (2cr/函大提供)</p>	<p><u>流通論</u> (2cr/函大提供)</p>	<p><u>ロボットの科学技術</u> (2cr/未来大提供)</p>			
後期	<p><u>水産食品安全学</u> (1cr/北大提供)</p>	<p>▲ <u>観光と食産業</u> (1cr/北大提供)</p> <p>(大学院)</p> <p>★ <u>観光食産業序論</u> 1cr/北大提供</p>		<p><u>数値解析学</u> (1cr/函館高専提供)</p>	<p><u>地球環境と水産養殖</u> (1cr/北大提供)</p> <p><u>国際地域リーダー論</u> (1cr/教育大提供)</p>	<p><u>社会と経済の把握</u> (2cr/未来大提供)</p>	<p><u>マーケティング総論</u> (2cr/函大提供)</p>
通期	<p><u>サケマス養殖生産学</u> (1cr/北大提供)</p>						

対象の正規科目と単位数

正規科目	単位
地域経済論Ⅰ（函館大学）	2
流通論（函館大学）	2
ロボットの科学技術（未来大学）	2
数値解析（函館高専）	2
社会と経済の把握（未来大学）	2
国際地域リーダー論（教育大学）	2
マーケティング総論（函館大学）	2

遡及認定により取得できるCREEN科目とクレジット数

CREEN人材育成カリキュラム科目	クレジット
地域経済論Ⅰ（函館大学提供）	2
流通論（函館大学提供）	2
ロボットの科学技術（未来大学提供）	2
数値解析学（函館高専提供）	1
社会と経済の把握（未来大学提供）	2
国際地域リーダー論（教育大学提供）	1
マーケティング総論（函館大学提供）	2

CREEN人材育成プログラム — 函館をもっと良いまちに！プロジェクト

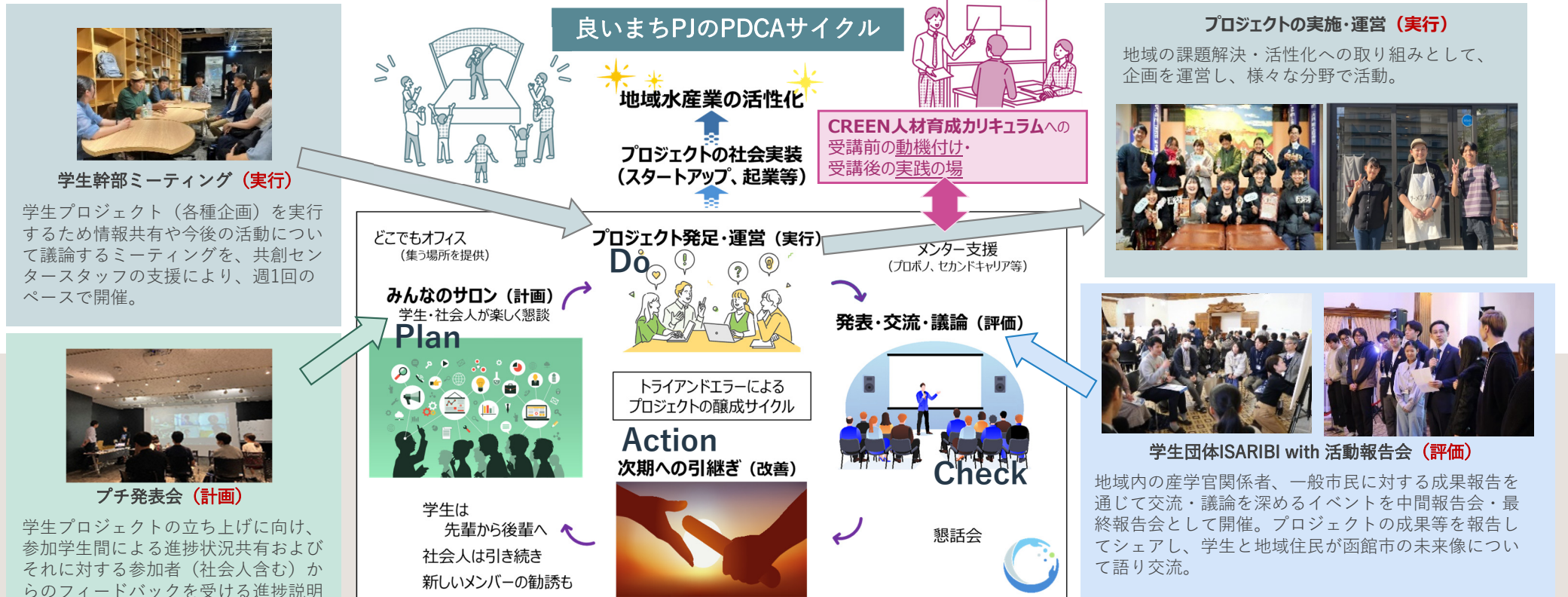
函館をもっと良いまちに！プロジェクト（良いまちPJ）：学生団体 ISARIBI with による活動

- 函館市内の教育分野が異なる高等教育機関に所属する **学生が主体となり、函館の水産業を中心とした課題発掘・対策の企画実施を推進するプロジェクト** をR5年4月に立ち上げた
- プロジェクトを推進する【**学生団体 ISARIBI with**】がR5年6月に発足
- CREEN人材育成カリキュラムの受講前の動機付けとなり、かつ受講後の実践の場を提供に寄与



- 設立からの団体登録者数：107名
- ・北海道大学水産学部：21名
 - ・函館大学：6名
 - ・函館工業高等専門学校：15名
 - ・はこだて未来大学：16名
 - ・北海道教育大学函館校：49名

2026年4月現在



【学生団体 ISARIBI with 函館市との連携】

- ・令和8年度 函館市基本構想審議会委員に就任
- ・函館市長を表敬訪問し学生団体の活動を紹介

CREEN人材育成プログラム ー中・高校生向けの取組

令和7年度実績

- 職業意識調査**：地元中学・高校生に対して職業意識に関する講義を漁業の魅力アンケートを題材に実施。
【実施内容】 R6年度 6校（町立木古内中、市立巴中、道立函館中部高、道立函館水産高、町立知内高、私立遺愛女子高 合計765名）
⇒R7年度 これまでの意識調査で得たデータをもとに、博士研究者と連携を取りながら今後の出前講座などの教育プログラム構築や産学官連携に係る基礎データの一つとして活用していく。
- 地域連携型オープンキャンパス**：地元の中高校生を対象に、研究室見学や実験の一部を体験。大学生と高校生の交流を深め、最先端研究に触れ、地元大学への進学を促すことを目的にR5年度から継続実施。
【実施内容】 R6年度 6校（道立函館中部高、町立江差中、道立南茅部高、教育大附属中、私立白百合高、市立桔梗中 合計153名）
⇒R7年度 道立函館中部高、道立松前高、町立落部中、国立函館工専、町立奥尻高、道立南茅部高、市立桔梗中学 など12校（325名）が訪問。
- 教材カード配布**：地元の小中校生をターゲットに水産・海洋に関係する写真・情報が記載された教材カード（LASBOSカード）を各種イベント等で配布（約4,000枚）。水産学関連情報を提供するLASBOSにリンクするカード形態とし、多くの「教材」を小中高生に届けることで訴求効果の向上を見込む。
- 北海道函館中部高等学校との連携協定（R7年6月）**
これまでキャンパスツアーやリケジョカフェ、サイエンス・イングリッシュカフェ、スーパーサイエンスハイスクール（SSH※）などで連携してきた函館中部高等学校と、連携協定を締結。この連携により、当該高校をハブとした市内の中学校・高校との連携波及効果や研究者意識の早期熟成、地域産業の振興を担う若手人材の育成など、期待される。

※SSH：文部科学省が高等学校を指定し、先進的な科学技術、理科・数学教育を通じて、生徒の科学的な探究能力等を培うことで将来社会を牽引する科学技術人材を育成することを目的とした取組。

女性に訴求する取組

職業意識調査：函館遺愛女子高等学校（女子校）ほか共学の5校

地域連携型オープンキャンパス：函館白百合学園高等学校（女子校）ほか共学の11校

○**リケジョカフェ**：遺愛女子高等学校や函館市内の高校と協力しR4年度から開催。地元の女子学生が最先端の研究実践に触れ、研究への心構えやモチベーションを高めると同時に、研究者として活躍するために必要な心構えを伝える等、学術的な視点から地元女子中高生に訴求する取組を継続中であり、**令和7年度も、令和6年度に引き続き函館中部高等学校で北海道大学大学院水産科学研究所の研究者による基礎研究（ヤドカリの生態）やキャリアに関する講義を実施し、参加学生からは将来像を深める機会となった等の声をいただいた。**

